

授業科目 ユニバーサルデザイン

【担当教員名】 大鍋寿一, 関根千佳, 森山政与志	対象学年	2	対象学科	義肢装具自立支援学科
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 障害者や高齢者、子供や妊婦など、身体的に制限のある方々が、日常ならびに社会生活を支障なく送れるようにするために、その周囲や環境で用いられているユニバーサルデザインについて学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 1. ユニバーサルデザインとGuide71について説明できる。
 2. バリアフリーについて説明できる。
 3. 情報のユニバーサルデザイン, ユビキタス情報社会とユニバーサルデザインについて説明できる。
 4. 建築ならびに住宅改修におけるユニバーサルデザインについて説明できる
 5. 社会復帰とユニバーサルデザインについて説明できる。
 6. 専門用語を英語で答えることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	UDの背景とGuide71	1, 6	講義と質疑応答、演習(大鍋)
2	ユニバーサルデザインとは何か	2, 6	講義と質疑応答、演習(関根)
3	情報のユニバーサルデザイン	3, 6	講義と質疑応答、演習(関根)
4	ユビキタス情報社会とユニバーサルデザイン	3, 6	講義と質疑応答、演習(関根)
5	建築におけるユニバーサルデザイン	4, 6	講義と質疑応答、演習(森山)
6	住宅改修におけるユニバーサルデザイン	4, 6	講義と質疑応答、演習(森山)
7	社会復帰とユニバーサルデザイン	5, 6	講義と質疑応答、演習(森山)
8	達成度確認試験：特に指定が無い限り、出題は全講義・演習の範囲で行う。		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	プリント, 板書, ビデオ, Power pointを使用する。			
参考書				
その他の資料	Introduction To Rehabilitation Engineering and Assistive Technology, R. Cooper, H. Ohnabe and D. Hobson, Taylor and Francis, 2006			
【評価方法】 レポート：20%, 小テスト：20% 達成度確認試験：40%、学習態度：20%	【履修上の留意点】 問題解決能力だけでなく、課題発見能力にも力をいれるので、積極的に質疑応答に参加すること。			

義肢装具自立支援学科 専門